

放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業

【令和9年度予算概算要求額 734百万円（令和8年度当初予算額 3,789百万円）】

<対策のポイント>

被災地の森林・林業の再生を図るため、森林内における放射性物質の実態把握、森林施業が放射性物質の動態に与える効果の検証やほだ木等原木林再生のための実証に加え、帰還困難区域等の国有林における森林整備の再開に必要な放射性物質対策等を実施します。

<事業目標>

森林・林業の再生を通じた被災地の復興

<事業の内容>

1. 森林内における放射性物質の実態把握

○ 森林内の放射性物質の実態等を把握するため、樹冠部から土壌中まで階層ごとの放射性物質の分布状況等の調査・解析、樹木による放射性セシウムの吸収に関係する土壌化学性の調査等を実施します。

2. 森林・林業再生に向けた実証等

① 帰還困難区域等における実証

帰還困難区域等において、地域住民の帰還と林業の再生を円滑に進められるよう、森林施業が放射性物質の動態に与える効果の検証等を実施します。

② ほだ木等原木林再生のための実証

放射性物質の影響を受けている里山・広葉樹林の計画的な再生に向けた実証的な取組を実施します。

③ 情報の収集・整理と情報発信等

森林・林業の再生に向けた情報の収集・整理と情報発信、帰還困難区域等における安全な森林作業等のためのリスクコミュニケーション等を実施します。

3. 放射性物質対処型林業再生対策

○ 帰還困難区域等の国有林における森林整備の再開に必要な放射性物質対策、住居周辺の里山における環境省・復興庁と連携した里山再生事業等を実施します。

<事業の流れ>

国

委託

民間団体等

(1、2の①、③、3の事業)

国

定額

都県

(2の①、②の事業)

都県

定額

市町村、民間団体等

(2の①、②の事業)

(国研) 森林研究・整備機構

(3の事業)

※ 1、2、3の一部は国有林による直轄事業

<事業イメージ>

1. 森林内における放射性物質の実態把握

枝 0.2%
樹皮 0.6%
材 0.7%
葉 0.2%
落葉層 1%
土壌 97%

2025年度（川内村スギ林）

樹木に付着した放射性セシウムは雨による洗脱や落葉などで土壌へ移動し、森林内の分布は15年間で大きく変化

土壌等の濃度測定

2. 森林・林業再生に向けた実証等

① 帰還困難区域等における実証

リターフォールによる放射性物質動態調査

③ 情報の収集・整理と情報発信等

小学生への出前講座

② ほだ木等原木林再生のための実証

伐採後のぼう芽更新

3. 放射性物質対処型林業再生対策

土壌移動抑制のための放射性物質対策

里山再生事業が完了した森林

【お問い合わせ先】
林野庁研究指導課 (03-6744-9530)
業務課 (03-3503-2038)